

信州大学医学部附属病院 消化器内科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年2月8日

「肝細胞癌に対する肝切除またはラジオ波焼灼療法施行後の再発治療・長期予後に関する多施設共同後ろ向き観察研究：SURF trial 付随研究」を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	3930
研究課題名	肝細胞癌に対する肝切除またはラジオ波焼灼療法施行後の再発治療・長期予後に関する多施設共同後ろ向き観察研究：SURF trial 付随研究
所属(診療科等)	内科(2)
研究責任者(職名)	藤森尚之(大学院生)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2018年12月31日
研究の意義、目的	肝癌に対する治療別の予後を明らかにすることを目的とした研究で、今後の肝癌診療に貢献すると考えられます。
対象となる患者さん	2009年4月から2015年4月の期間に当院で SURF-trial に参加いただいた方
利用する診療記録／検体	疾患背景(腹水・ICG 試験・肝障害度・ワーファリン・ビタミン K 製剤)、肝癌再発日、再発形式、治療内容、治療効果、腫瘍マーカー、抗ウイルス療法、内服薬
他機関への試料・情報の提供方法	郵送による調査票提出
研究方法	日常診療の記録より上記の内容を収集し、予後と各種診療記録との関係性の有無について検討します。
共同研究機関名	東京大学(責任者：河口義邦)
研究代表者	主任施設の名称：東京大学 研究代表者：河口義邦
問い合わせ先	氏名(所属・職名)：藤森尚之(信州大学消化器内科・医員) 電話：0263-37-2634

日常診療における診療記録や検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検

**査、検体の採取の必要はありません。**

**利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報**を削除し、主任施設である**東京大学**に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。